



3年織物体験事業 12/7(木)

「桐生を好きな子供」を
育てる事業



＜桐生織の歴史を学ぶ＞



＜織機の使い方を学ぶ＞



＜織機で手織の体験＞

この事業は、桐生市の児童生徒が、本市の伝統産業である絹織物について学び、「桐生を好きな子供」を育み、伝統文化の継承につなげるための桐生市教育委員会主催のものです。

この度、桐生織伝統工芸士会の佐藤さん、長谷川さん、香山さんと、織物協同組合事務局の後閑さんが来校し、桐生織物のお話をしていただいたり、実際に織機で絹製品を織らせていただいたりしました。お話の中で、桐生市は1300年の織物の歴史がある町であるということ、桐生の織物は徳川家康と深いつながりがあり、徳川家に大事にされながら、絹織物の町として栄えていたことなどが分かり、桐生という町のすばらしさを改めて認識しました。また、「桐生織の七つの技法」が経済産業大臣が指定する伝統的工芸品（全国222品）として認定されているそうです。群馬県では、伊勢崎の紺と桐生織の二つしか認定されていないそうです。

3年生の児童は、初めて見る織機を使って緊張しながらも皆真剣に織ったり、「織物を作るのにどのくらいの時間がかかりますか」など、いろいろな質問をしたりして有意義な時間を過ごしました。



音楽朝会 12/7(木)

全校で、「キミに出会えてよかった」という歌を歌いました。この歌は、人権週間に歌うのにぴったりで、「キミに出会えて良かった～♪100年後もよろしく」のように、自分とは違いがある友達をいつまでも大切にしていきたいという気持ちが込められた歌詞です。



朝会では、音楽担当の亀井教諭や森教諭の歌唱指導によって、歌い方が上手になっていくのが明らかに分かるほど、全員の児童が一生懸命歌っていました。体育館の中では、美しい歌声が朝から響き、とても気持ちのよい1日のスタートでした。神明小の子供たちは、歌がとてもじょうずです。



6年薬物乱用防止教室 12/8(金)

この度、桐生地区更生保護女性会のご協力により、薬物乱用防止教室を開催しました。昨年度までは、学校薬剤師さんを講師に招き開催していた学習ですが、今回初めての試みで更生保護女性会にお願いしました。

まず、薬物乱用防止DVD「絶対ダメ、薬物乱用」を視聴後、桐生地区更生保護女性会の八木会長さんに、煙草の害について説明いただきました。そして、どれほど煙草の煙には害が含まれているのかを証明するために、ミミズを使っての実験をしました。児童は、煙草を溶かした水の中に入れられ苦しむミミズの様子を観察して、煙草の害を理解できたようです。その後、桜木地区の更生保護女性会の方々が、煙草を誘われたときの断り方について、ロールプレイングを示してくれました。

最近では、喫煙の低年齢化が問題視されている中ですが、児童は今回の薬物乱用防止教室を通して、覚醒剤や危険ドラッグなどの薬物には絶対に関わらないこと、未成年での喫煙は法律違反であること、そして、ニコチン依存症などを考えるとしてはいけないことだと認識できたようです。喫煙をしている保護者の方は、子供への受動喫煙の影響等を考えていただけるとよいと思います。



<煙草には、こんな害が…>



<ミミズがこんなに苦しんで…>



<喫煙を誘われたら…イヤだよ>



秋のクリーン作戦実施 11月28日(火)

春に続いて2回目のクリーン作戦を実施しました。今回は、持久走大会に備え、落ち葉を中心に清掃を行いました。1年生は教室前、2年生は体育館周辺、3・4年生は校庭を担当し、除草や落ち葉拾いを行いました。5・6年生は学校周辺の歩道を中心に、落ち葉清掃やごみ拾いを行いました。

クリーン作戦を通じて感じたことは、前回はそうでしたが、学校周辺の歩道には、落ち葉はたくさん落ちていましたが、

ごみはほとんど落ちていないということです。これは、日頃より地域の皆様が、環境美化に気を配っているからこそだと思います。実際5月13日、7月8日、9月9日、11月



11日の4回、いずれも土曜日の朝7時より、広沢二丁目の町会役員の皆さんが町内清掃に取り組んでくださいます。陰ながら、このように自分たちが住む町をきれいにするために働いてくれている人がいるということを知ることでも大切です。

神明小学校の子どもたちには、クリーン作戦等の活動や道徳、学級活動を通して、社会のマナーや公共心、奉仕の心を育てていきたいと思っています。